

# 京都府外国人材受入れ・共生推進本部会議(第1回)議事録

日時：令和元年6月6日(木) 13:00 ~ 14:50

場所：京都経済センター 6-B/3-F 会議室

## 1 京都府外国人材受入れ・共生推進本部の設置について

＜山下副知事＞

- ・今回このような推進本部を設置したのは、入管法が改正され、多くの外国人の方が働いていただけるようになるということもあるが、それだけではなく、例えば、予備軍を含めて1万人ぐらいの留学生が京都で学びたいと思って来られており、昨年のある企業の募集を見ていると、京都だったら働きたいという外国の方が非常に多いという状況にある。
- ・また、ある論文には北米の元気な都市は、押し並べてダイバーシティが進んでいるとある。これは当然のことで、障害の有無や国籍を問わず元気に活躍できるような環境をつくるのが、都市の発展にも繋がっていることを表しており、よく考えると至極当然のことである。
- ・この会議の会場がなぜ府庁ではなく、ここ経済センターなのかということだが、ここは、私にとってオール京都で取り組む象徴的な場所、あらゆるセクションがお互いの力を合わせて連携をすることによって、より良い社会、今回は共生社会だが、そういう社会をつくるシンボリックな場の一つだと思っている。
- ・各々の役所、役人は、文化スポーツ、建設交通、商工、健康福祉等、主に担当している分野が当然あるが、それだけやっていたのでは、共生社会を実現できない。自分の埒外にあることも全てのことは自分事と考えていかないと本当の共生社会なんてできるはずがない。
- ・オール京都と言っているのもそうで、お互いの持分をうまく連携することだけがオール京都ではなく、もう少し一歩踏み込んで、「あなたのやっているこの事業は、このように変えたらもっとよくなる」というくらいの踏み込み方で事業を進めていかないとオール京都体制にならない。このような意味から、今日はこの場でスタートを切らせていただいた。
- ・セクションがそれぞれ異なるが、共生社会をつくること、そのことが京都の末永い発展のため、あるいは住んでいる方の幸福度の向上のために必ず役に立つということは間違いない事実だと思うので、そういう視点で連携を進めていただきたい。

## 2 府内在留外国人・外国人労働者の現状・課題及び対応方針、今後の進め方について

＜人材確保・労働政策課長＞

- ・府内外国人労働者の現状・課題及び対応方針、今後の進め方
- ・特定技能（14分野）について
- ・外国人の多文化共生のための総合的対応策（126項目）について

## <国際課長>

- ・ 府内在留外国人の現状・課題及び対応方針について
- ・ 多文化共生の取組について

### 3 基調講演

「外国人の受入れと自治体、企業、地域社会：私たちは何をしなければならないのか」  
首都大学東京 人文社会学部人間社会学科 丹野 清人 教授

### 4 パネルディスカッション

【テーマ】「外国人と共に創る京都の未来」

【パネリスト】丹野 清人氏（首都大学東京 教授）

ウスビ・サコ氏（京都精華大学 学長）

山本 光世氏（JOHNAN 株式会社 代表取締役社長兼 CEO）

### 5 その他

- ・ 今後、外国人材の受入れ・確保と多文化共生の実現に向けて、全庁横断的に情報を共有しながら、効果的かつ効率的に取組を進めていく
- ・ 7月5日（金）に「京都府外国人材受入れ・共生推進庁内連絡会議」を開催予定



（推進本部会議）



（パネルディスカッション）